

CTCメルマガ vol.122
2025.12.12

倉敷で
CTCハシズオン！

*Presented by Daisuke Tsurumaru
Radiology Dept. Kyushu Univ.*



消化器がん検診学会 中国四国地方会でCTCハンズオンが初開催！

第56回日本消化器がん検診学会中国四国地方会
「臨床に活かす！大腸 CTハンズオンセミナー」開催

中国四国地方の
消化器がん検診の現状と課題、
将来の展望

会期 2025年12月6日(土)・7日(日)
会場 川崎医科大学 現代医学教育博物館
会長 松本 啓志 川崎医科大学 消化器内科学

更新情報
2025年11月20日
プログラム、参加者へのご案内、座長・演者へのご案内を掲載しました
2025年11月10日
ハンズオンセミナーを掲載しました
2025年09月17日



IN KURASHIKI

第56回日本消化器がん検診学会中国四国地方会
会長：松本 啓志
(川崎医科大学 消化器内科学)

大会長の松本啓志先生（消化器内科医）
大腸CT推進派です！

Home
会員挨拶
開催概要
プログラム
演題募集
参加者へのご案内
座長・演者へのご案内
ハンズオンセミナー[▲]
アクセス
リンク

ハンズオンセミナー

ハンズオンセミナーを下記のとおり開催いたします。参加は事前申込制となっております。
参加申込は以下の「ハンズオンセミナー申込」よりお願いいたします。

日 時
2025年12月6日（土曜日）13:00～15:00

会 場
川崎医科大学 現代医学教育博物館 5F ハンズオンセミナー会場

参加費
学会参加費のみ 追加徴収なし

事前予約
あり、ただし当日受付もあり
参加者は医師、技師問わない 初学者からベテランまで

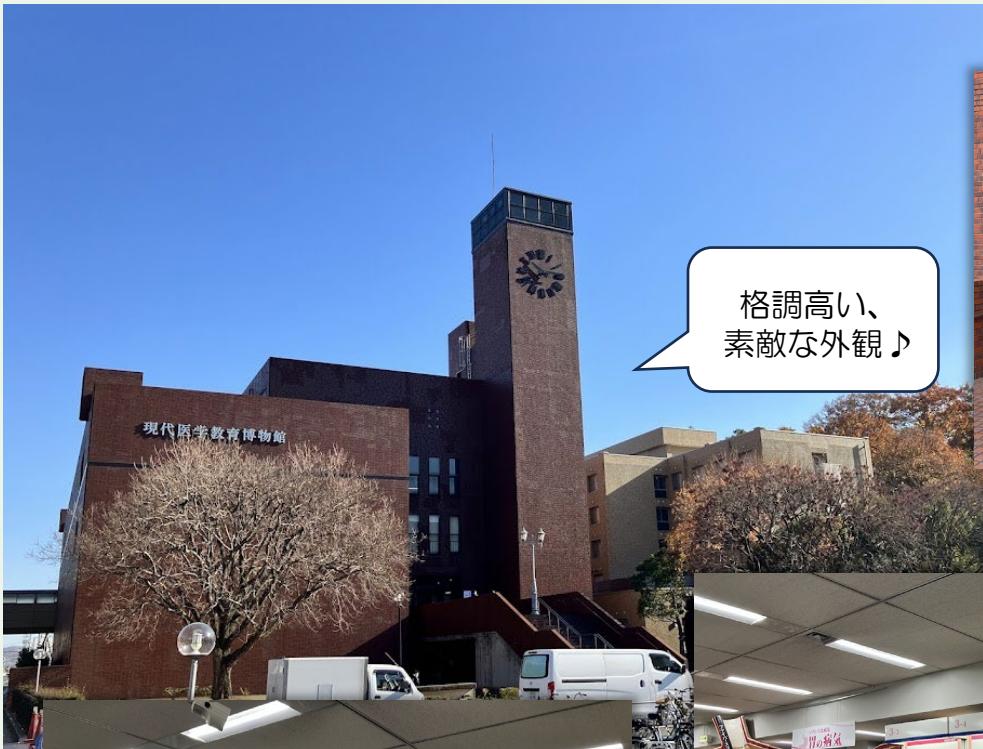
プログラム
「中四国から広げる！大腸CTの新時代を共に創る」
大腸CTの臨床的価値を、もっと多くの医療現場へ。
数年ぶりの岡山開催となる今回のハンズオンセミナーでは、「見える・診る・伝える」大腸CTをテーマに、基本的な理論、読影技術と臨床応用力を高める実践的プログラムを用意しました。
「大腸CTをこれから始めたい方」も「日常診療でさらに深めたい方」も、どなたでも歓迎です。
中四国から大腸CTの力を広げるために。
皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

前半：日本消化器がん検診学会
2025年 大腸CT検査技師研修会 大腸CT検査教育研修会プログラム 80分
前半：ハンズオンセミナー

講 師：笠井 信也先生（笠岡第一病院 放射線科）
木下 琢実先生（倉敷成人病センター 放射線技術科）
サポーター：鶴丸 大介先生（九州大学病院 放射線科）

会場は、川崎医科大学に併設されている現代医学教育博物館。

<https://m.kawasaki-m.ac.jp/mm/html/>



展示もかなり充実しており、これを見に来るだけでも十分楽しめます。

グッズも
かわいい！

約2時間、専用の会場でCTCハンズオンが行われました。



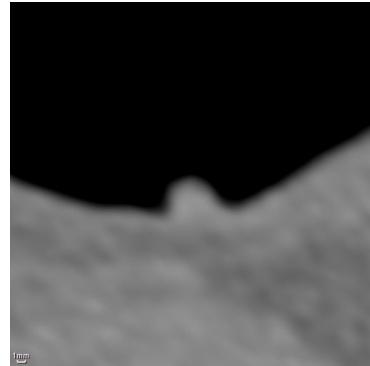
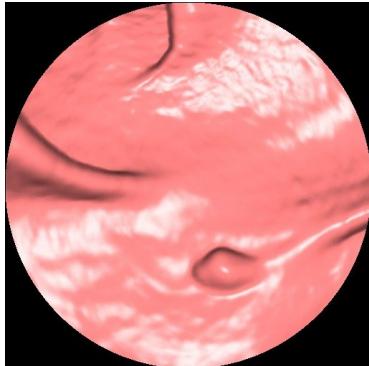
実機ごとに数名の参加者と講師が配置され、一緒にワークステーションを操作します。

熱い指導、笹井先生ワールド全開です！



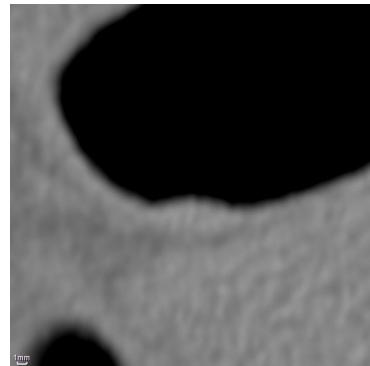
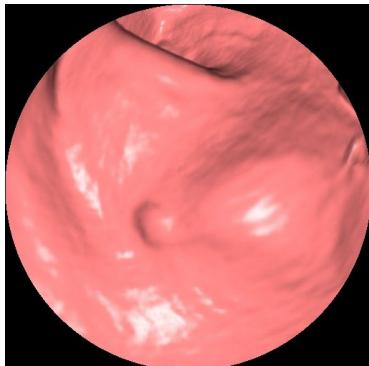
バラエティーに富む症例のラインナップでした！

(大腸ポリープだけでなく進行癌、非腫瘍性病変など、全7症例)



通常型腺腫

仮想内視鏡像で、境界が明瞭で立ち上がりも急峻。上皮性腫瘍が示唆されます。



神経内分泌腫瘍
(NET)

仮想内視鏡像で、立ち上がりが非常になだらか。粘膜下腫瘍が示唆されます。

一見難しそうな両者の鑑別ですが、ワークステーションを駆使して仮想内視鏡像や横断面を丁寧に観察することで、十分に診断に迫ることができます！

参加したみなさまからのご意見、ご感想。



- ゲームみたいで楽しかったです。
- 楽しかったです。また機会があればお話を聞きたいです。
- CTCの情報がアップデートできた。
- 面白かったです。当施設に来年度からCTが入るので、CTCやりたいな~と思いました！
- 実機による詳細な操作説明を頂き分かり易かったです。症例も難易度の高いものも教えて頂き理解が深まりました。
- 初めて知ることもあり、面白かった。
- 大変勉強になりました。

消化器がん検診学会としては初の試みでしたが、盛会でした！
がん検診における大腸CTのニーズは今後も高まってきそうです。
(九州地方会でも次回から大腸CTのセッションが開催される予定です)